

# リスクマネジメント 分科会

## 当日使用資料

平成28年10月21日

山本英毅、鹿島 啓、西川 譲、斉藤 昇

# 業務リスクの抽出・評価の対象

- ①開発・・・顧客ニーズとのマッチング、原価、安全設計、誤使用防止、耐久性
- ②調達・・・仕入先(仕入先の倒産・被災)、仕入先の二重化、レアメタル・レアアース
- ③生産・・・設備故障、品質不良、労災(機械的要因、化学的要因)、工場の複数化(分散化)
- ④在庫管理・生産・・・必要な在庫数、納期管理、定められた環境での保管、賞味期限管理
- ⑤物流・・・自然災害、交通事故
- ⑥販売・・・価格低下(競合相手)、販売経費、利益管理、納期厳守、
- ⑦納入出荷・使用・・・製品事故・リコール・食中毒

## 2-4 リスクコントロールの方法

### ①リスクコントロール手段の選択

- a) 本質的な安全
- b) 防護手段
- c) 安全に関する情報

### ②リスクコントロール手段の実施

- ・手段の効果を検証する。

### ③残留リスクを評価する。

### ④効用が残留リスクを上回るかどうかを見直す。

# 発生リスクの対策マップ

大 影響度	<b>軽減</b> 発生した際の損失を抑える対策を行なう。 (備蓄、保険)	<b>回避</b> 損失をこうむると考えられる対象そのものを除去する。 (分散、プロセスの二重化)
	<b>受容</b> 対策はしない。	<b>予防</b> 損失の発生頻度を少なくする対策を行なう。 (分散、什器固定)
小	小	大

発生頻度

## EA21で取りくむべきリスク

現在	ガイドライン改訂後
<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針</li> <li>・環境目標</li> <li>・環境活動計画</li> <li>・環境活動レポート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針の制定</li> <li>・環境経営目標の設定</li> <li>・環境経営計画の作成</li> <li>・環境経営レポートの作成</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境汚染(水質・大気)への対応</li> <li>・環境汚染(水質・大気)への対応</li> <li>・化学物質の適正管理</li> <li>・防火対策(消防法)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境汚染(水質・大気)への対応</li> <li>・騒音・振動への対応</li> <li>・化学物質のリスクアセスメント(労働安全衛生法)</li> <li>・防火対策(消防法)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業のライフサイクル(調達・製造・販売・サービス・製品の廃棄)に係る潜在的なリスクの抽出と対応策の準備</li> <li>・地震等自然災害へ対応策の準備 (什器の転倒防止・停電対応・帰宅困難者対応)</li> <li>・事業の存続に係るリスクの抽出(事故・不祥事・人材の確保と教育)</li> </ul>

# 分化会参加者の審査企業業種

業種	登録事業者	審査(前半)	審査(後半)
建設業(設備工事業を含む)	2477	14	10
製造業(鉄鋼・非鉄金属・金属製品)	694	10	10
製造業(機械器具・電子機器等)	278	9	7
製造業(食品・飲料等)	82	5	3
製造業(パルプ・紙・紙加工品)	93	4	0
製造業(木材・木製品等加工)	47	1	0
製造業(化学工業・繊維工業)	62	4	0
製造業(石油・石炭・ゴム・プラスチック等)	112	3	1
製造業(印刷業)	94	10	4
運輸業・倉庫業	141	5	4
卸売業・小売業	700	11	8
金融業・保険業	191	7	3
廃棄物処理業・リサイクル業	1367	18	12
自動車整備業	283	16	8

# 人材確保のリスクの事例

[製缶業(金属切断・溶接等)]

(問題点)①人材を募集すると人は来るが、使い物になりそうにない

②工場を見て辞退

③入社しても客先での据付や保守が入ると止めてしまう

(解決策) ハローワーク以外の募集を検討する。

大阪では大阪府ものづくり支援課が東大阪に「MOBIO」を開設し、コーディネータがいて、登録企業(約1000社)のマッチングや産官学連携の仕事をされているので、そこに企業登録して事業廃止の企業が出たときに人材を紹介してもらう。

[全業種]

(問題点) EA21継続のための人材の育成…取り下げの防止

(解決策) ①従業員に「エコ検定」を取らせ(受験料会社負担)、環境に対する関心をもたせる。

②審査人が定期的にフォローしながら継続し易いよう支援する。

③環境管理責任者と事務局のメンバーを別の人にし、事務局の人をローテーションする。

# コストダウン要請のリスクの事例

## [金属加工業]

(問題点) 導入設備(マシニングセンター)の効率的運用

(解決策) 2交替性(8:00～16:00、13:00～22:00)を導入して昼休みも装置を動かす。

## [販売業]

(問題点) 経費削減

(解決策) 自社配送から直接配送への切り替え(自社では発注業務と伝票処理のみ)

## [食品製造業]

(問題点) 食品廃棄物の削減

(解決策) 製造時の食品屑を工場の排熱で乾燥させて、飼料製造業者に引き取ってもらうようにした。(産業廃棄物処理費用の削減)



# 新商品開発・販路確保のリスクの事例

## [ゴム・プラスチック等製造業]

(問題点) 技術・開発資金等

(解決策) 産官学連携と補助金の活用

- ・水素に対して耐性のあるOリングの開発
- ・FCV用水素タンクの開発

## [金属加工業]

(問題点) 国内受注の減少

(解決策) 開発途上国での生産と販売ルートの開拓